

第32代豊橋市長に佐原光一氏が就任

佐原市政がスタート



初登庁の際、職員から花束を受け取る(11月17日/市役所東館ロビー)

豊橋市長選挙結果

(平成20年11月9日執行)

佐原光一	51,102票
小久保三夫	43,481票
早川勝	35,868票
当日有権者数	289,228人
投票者数	131,754人
投票率	45.55%



当選証書付与式(11月10日/市役所講堂)

11月9日(日)、任期満了に伴う豊橋市長選挙が行われ、第32代豊橋市長として佐原光一氏が当選しました。

11月17日(月)、初登庁した新市長は市役所東館ロビーで多くの人に出迎えられ、「豊橋が東三河の雄(ゆう)であり、愛知県の東の雄(ゆう)であり続けることで、市民のみなさんが誇りを持ち住み続けられるまちにしたい。みなさんと一緒に豊橋のまちをつくっていききたい。」と市長就任のあいさつを述べました。

続いて、市役所講堂に集まった市幹部職員を前に

「21世紀になり急速に社会・経済情勢が変化している。その中で、新しいことに対応できない組織は生き残れない。前市長の育んできた『市民が主役』を継承し、お客様である市民から感謝されることを喜びとしたい。職員のみなさんは自分の仕事に誇りと責任感を持ち、良いところは残し、変えるべきところは躊躇なく変える。市役所だけではできないこともある、コスト削減と環境への配慮を忘れず、広い視野をもって職務に励んでほしい。」と新しい感覚で、改革を進める決意を述べました。



幹部職員を前に訓話を行う
(11月17日/市役所講堂)

新市長からメッセージ

「攻め」「挑戦」「明快」で豊橋を変える！

世界が、そして日本が急速に変化しています。豊橋も変わっていかねばいけません。立ち止まっている暇はありません。わたしは市政を進めるうえで3つの「C」を掲げ、市民、職員と一緒に議論し、アイデアを出して、豊橋のまちを日本全国、世界中に紹介できるまちとしていきたい。

「攻め(CHANGE:チェンジ)」

豊橋の企画力、創造力を高め、市民と共に新しい豊橋像を作り上げていく「攻め(チェンジ)」の市政を進めます。

「挑戦(CHALLENGE:チャレンジ)」

経済、社会、そして自然までが大きく変化する今日、さまざまな変化に的確に対応するためにはチャレンジ精神が必要です。血気盛んに挑戦する「チャレンジ行政」に大きく舵を切って進みます。

「明快(CLEAN:クリーン)」

市民のみなさんに市政を十分に知っていただき、参加していただくために、徹底した情報公開を行い、行政のクリーン化に全力を挙げて取り組みます。

